

2026年03月12日
株式会社ハイフライヤーズ

4月本格開始の国の制度「こども誰でも通園制度」、 保護者の制度理解は28%、周知が課題に

～子育て支援4社で制度理解度を高めるオンラインセミナーを合同開催～



サムネイル

株式会社ハイフライヤーズ(<https://www.kiitos-kids.net> 本社：千葉県千葉市、代表取締役：日向 高志)は、株式会社こころく、ユニファ株式会社、BABY JOB株式会社と協働し、未就学児を持つ保護者121名を対象に、2026年4月に本格開始される国の制度「こども誰でも通園制度」に関するアンケート調査を実施しました。

その結果、本制度について「まったく知らなかった」と回答した保護者は約15%以上にのぼり、「名前は聞いたことはあるが内容はよく知らない」と回答した人も多く、本格開始を目前に控える中で制度の認知・理解が十分に広がっていない実態が明らかになりました。こうした状況を受け、行政の情報が届きにくい未就園児家庭に向けて子育て支援を行う民間企業4社は、制度の認知と理解を深める機会として、こども家庭庁の後援のもと、保護者・自治体向け無料オンラインセミナー『「こども誰でも通園制度」まるわかりライブ』を2026年3月5日(木)に合同開催しました。

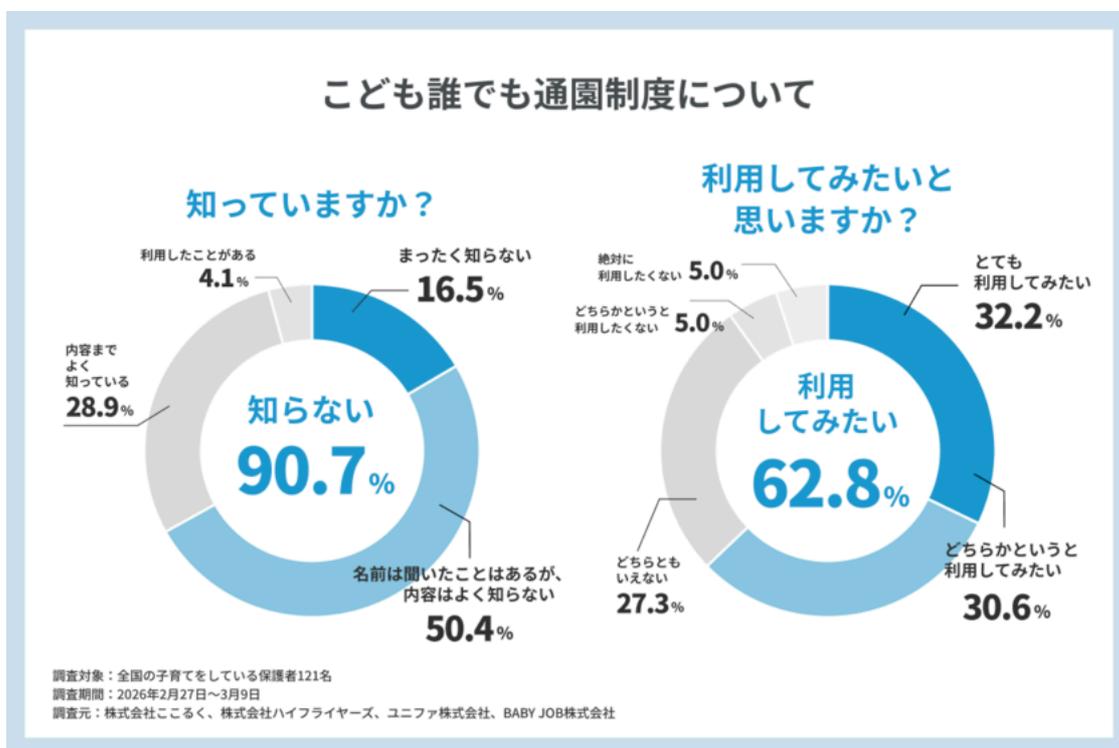
■開催背景

こども家庭庁が2025年に実施した調査※1によると、子育ての負担感や孤立感を感じている人は多く、特に0歳から2歳の時期にその割合が高くなることが分かっています。

2026年4月より本格開始される国の制度「こども誰でも通園制度」は、0歳6か月から満3歳未満の未就園児を対象に、保護者が就労していなくても月10時間まで保育園等を利用できる仕組みです。こどもに新しい経験や学びの機会を提供するとともに、子育ての孤立や負担の軽減を目的としています。

しかし今回、未就園児を持つ保護者121名を対象に実施した調査では、16.5%が本制度を「まったく知らない」と回答しました。また、「名前は聞いたことはあるが内容はよく知らない」と回答した人も50.4%にのぼり、制度開始を目前に控える中で、認知・理解の広がり課題がある実態が明らかとなりました。

一方で、制度の概要を説明したうえで利用意向を尋ねたところ、「とても利用してみたい」「どちらかという利用してみたい」と回答した人は62.8%となりました。



アンケート結果1

また、不安や懸念としては、「預け先の空き状況が心配」「どの保育施設で実施しているのかわからない」「利用方法や手続きが分かりにくそう」といった声が挙げられました。制度への関心は一定程度ある一方で、具体的な利用方法や実施施設に関する情報が十分に行き届いていないことが課題となっていることがうかがえます。

「こども誰でも通園制度」を利用するにあたって、
不安や懸念はありますか？ (複数回答可)



調査対象：全国の子育てをしている保護者121名
調査期間：2026年2月27日～3月9日
調査元：株式会社こころく、株式会社ハイフライヤーズ、ユニファ株式会社、BABY JOB株式会社

アンケート結果2

※1)こども家庭庁 「こども家庭庁委託事業妊婦や乳幼児とその保護者を取り巻く生活実態調査調査結果報告書」 2025年3月

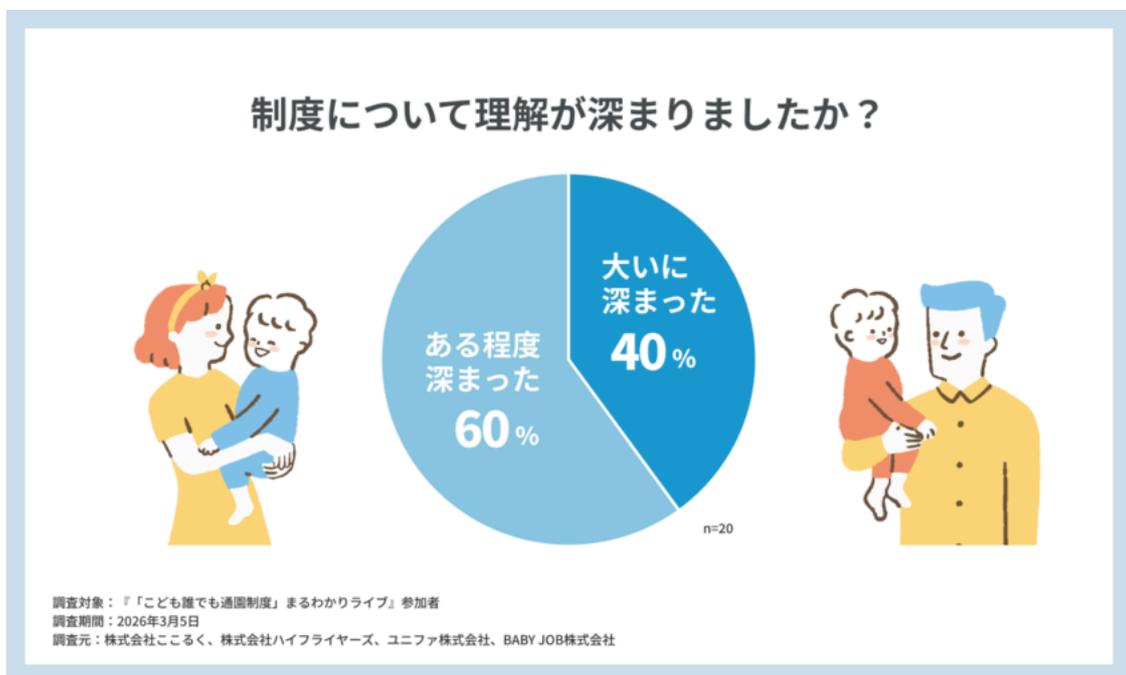
■保護者の理解を深めるため、4社合同のセミナーを開催
行政からの情報が届きにくい未就園児家庭に向け、子育て支援サービスを提供する民間企業4社が連携し、制度理解を深めるオンラインセミナーを開催しました。

ICT、保育、子育て情報提供など、それぞれの分野の知見を活かし、「情報格差」の解消を目指す取り組みとして、こども家庭庁の後援のもと企画。

<セミナー内容>

- 制度の基本情報
- 具体的な利用方法
- 初めて預ける不安解消法
- おうちでの子育てに制度利用をどう活かす？

参加者アンケートでは、参加者全員が「制度への理解が深まった」と回答。



アンケート結果3

▼以下よりアーカイブ配信をご覧ください(無料)

お申込みURL： 調整中



オンラインセミナーの様子

【調査概要】

- 調査名 : 子ども誰でも通園制度に関する調査
- 調査対象 : 全国の未就学児の子どもを持つ保護者
- 調査期間 : 2026年2月27日～3月9日
- 調査方法 : Googleフォームによるアンケート調査
- 有効回答数 : 121名

■キートス統括園長 日向 美奈子のコメント

こども家庭庁が主体となり制度化された「こども誰でも通園制度」ですが、自治体により利用時間や事業者が運営するための補助等には差があるのが現状です。国が本格実施を進める制度であることから、利用者の居住する自治体による差をなくし、利用者にとって公平であることを望みます。また、受け入れる事業者を増やすためにも、事業者に対しても自治体に寄る差がなくなることを期待しています。



統括園長 日向 美奈子

■参考：キートスの「荷物のいらない保育園」と「こども誰でも通園制度」の取り組み
株式会社ハイフライヤーズが運営する認可保育園「キートスチャイルドケア」「キートスベビーケア」では、保護者の子育て負担を軽減する取り組みとして「荷物のいらない保育園」を実施しています。

布団やオムツ、歯ブラシ、食事用エプロンなど、保護者の金銭負担無く、必要な荷物を園が全て用意しています。

毎日の通園準備から解放されることで子どもと保護者が向き合う時間を増やすことを目指しています。

▼キートスの荷物のいらない保育園の取り組み

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000012.000087154.html>

またキートスでは、未就園児の受け入れを通じて「子ども誰でも通園制度」の活用にも取り組んでおり、制度利用の実績や保護者の声も蓄積されています。

▼キートスの子ども誰でも通園制度の取り組み

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000028.000087154.html>

【会社概要】



本社

千葉県内にて認可保育園「キートスチャイルドケア」・「キートスベビーケア」を運営しています。保育園が持つ固定観念を払拭し、保育業務のDXを推進する事で社員が自発的にイノベーションを生み出せる組織を目指しています。株式会社として正しく認可保育園を運営し、子どもたちをはじめ保護者、社員、全てのステークホルダーに対して最大限利益を還元し、利用者満足度を向上させることをミッションとして保育サービスを提供しています。人との

つながりを大切にし、子どもたちだけでなく、保護者や社員にとっての「また明日も来たい保育園」であるために今後も様々なことにチャレンジしてまいります。

その他のハイフライヤーズの取り組みについてはこちら

<https://www.kiitos-kids.net/press/>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

担当 : 広報部 石井

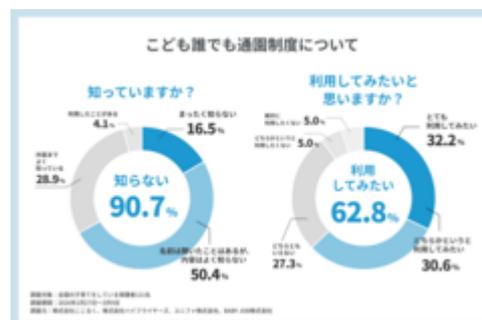
お問い合わせ先 : kiitos@highflyers.co.jp / 043-301-2633

取材お申し込み : <https://kiitos.my.site.com/enqueteForm/s/inquiry-press>

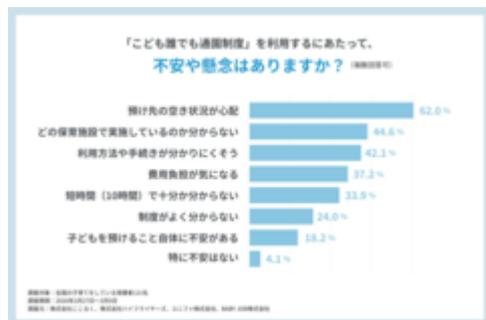
プレスリリース画像



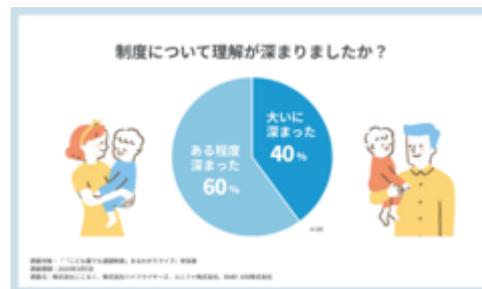
サムネイル



アンケート結果1



アンケート結果2



アンケート結果3



オンラインセミナーの様子



統括園長 日向 美奈子



本社